

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

秋の花々

野の花に心を向けるようになったのは、思い返すと、観察の森に通うようになってからかな。勤めを辞める前は10年ほど関西ですごし、単身赴任の週末はゴルフか大阪や京都奈良の山歩きを楽しんだ。が、緑の中を歩いていただけ？

横浜に帰り“さあて、これからは森の整備に関係する活動をしたいな”、“さてどこに行けばいいのかな”、“円海山の杉やヒノキの林も気になるな”と調べている中でヒットしたのが“雑木林ファンクラブ”だ。2月の説明会を受け、即友の会に入会を申し込み、その足で炭小屋に直行した。今年は10年目だ。

メンバーになって間もなく会報の発行担当を引き受けた。巻頭の小エッセイは以前から石川トキさんが毎月書いて下さっていたので、会報の体裁も整い、レベルの高いZFC会報であったと思っています。約5年続きました。石川さんも毎月の原稿に苦勞をなさっていましたが、テーマは主に観察の森や近所に生えている草ぐさ。感化されて周りの雑草にも眼がゆくようになった。

“踏まれて伸びるおおぼこ”。なるほど、畑の道端を選んでではえている。

“がまの穂わたにくるまれば〜”の漢方止血薬。因幡の白ウサギの歌詞がわかった。嘘八百のはなしではなかったのだ。納得。

“ヤイトバナ”。子どもの頃、女の子たちが一寸舐めては腕につけ遊んでいた。かわいいこの花を“ヘクソカズラ”とは無粋な呼び方をしたもんだ。

円海山を歩いていて、フンと匂う甘い香り。見上げれば“クズ”の花。地面にも紅いはなびらが落ちている。憎くたらしいこの草もこの季節だけはかわゆい。

“コニシキソウ”“コミカンソウ”に“スベリヒユ”。夏から秋にかけて抜いてもすぐに生えてくるこの畑の雑草も、名前を覚えれば憎くはない。アカマンマの“イヌタデ”もあぜに生える邪魔者だが、紅いはなが咲くまで暫らく残してやろうか！

目立たないが畑の草むらに咲いていた“ゲンノショウコ”。なぜか今年は見かけない。“よめな”に“仙人掌”“キンミズヒキ”・・・ etc.

お蔭さまで、これまで気にもかけなかった草ぐさを楽しむようになりました。

藤原功



1. 2013. 10月の主な活動報告

- ① 9月25日(水) 5名 炭焼イベントの準備
- ② 9月28日(土) 15名 シラカシ伐倒、炭焼イベント(本窯・ドラム缶窯)、製材
- ③ 9月29日(日) 8名 炭焼イベント
- ④ 10月2日(水) 4名 道具類の整備、小屋内の整理等
- ⑤ 10月5日(土) 5名 炭出し(ドラム缶窯)、道具手入れ等
- ⑥ 10月9日(水) 9名 粗朶柵作り、三世代交流打合せ
- ⑦ 10月12日(土) 11名 炭出し(本窯)、ニセアカシア伐倒
- ⑧ 10月19日(土) 10名 下草刈り(クヌギ林、池の上クヌギ林)、ゴロ報印刷、運営会議
- ⑨ 10月20日(日) 4名 森ボラ対応他



2. 運営会報告

- ① 20日(日)の森ボラは関根、吉田、張間、山田が担当する。
- ② 10月27日の「森のボランティアまつり」の担当は次の通り。
片岡：森の案内 張間：コースター作り 大越：ZFC活動説明
- ③ 11月14日(木)三世代交流会の担当は次の通り。
大越、関根、吉田、張間、鈴木、藤原及び綿貫、佐野の両氏にも協力を願うこととする。
- ④ 懸案の「森のめぐみコーナー」の設置について
工藤さんをリーダーとして炭小屋の前面に設置を検討する。
- ⑤ その他
 1. 桜林の草刈は12月に行う。枯れ木の伐倒。
 2. 椎茸畑付近の杉・檜の除伐を検討する。
 3. クヌギ・コナラの実を採集し植え付けする。

3. 11月の活動予定

- ① 11月2日(土) アラカシ・トウネズ・アベマキ除伐、竹林整備、製材
- ② 11月6日(水) シラカシ・アラカシ等整備、SF準備
- ③ 11月9日(土) シラカシ除伐、池の上管理地・クヌギ林斜面草刈、製材
- ④ 11月13日(水) 管理地草刈、SF準備
- ⑤ 11月16日(土) ドラム缶窯炭材準備、クヌギ林草刈(刈払機と手刈)、運営会、桜林検討会(14時~)
- ⑥ 11月20日(水) SF準備
- ⑦ 11月23日(土) ドラム缶窯炭焼、9号緑地間伐、草刈イベント
- ⑧ 11月27日(水) SF準備
- ⑨ 11月30日(土) クヌギ林草刈(刈払機と手刈)、SF準備

以上